

一人一人が輝く 教育立県を目指して

～子どもたちの自主性・自立性を育もう～

いばらき教育プラン

平成28年度～平成32年度

[茨城県教育振興基本計画]



基本テーマ

一人一人が輝く 教育立県を目指して ～子どもたちの自主性・自立性を育もう～

基本目標

学校・家庭・地域がそれぞれの役割を十分に果たしながら、社会全体で子どもたちを守り育てる体制を構築します。

特に生涯にわたる人格形成の基礎を培う乳幼児期において、家庭のしつけの徹底などにより、自主性・自立性に富み、優しさや思いやりを持って、強くたくましく生きられる子どもを育て、その上にたって「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた子どもたちの育成を図ります。

4つの基本方針と特に力を 入れて取り組む6つの視点

基本方針 1

社会全体による子どもたちの自主性・自立性の育成

家庭や地域の教育力の低下が指摘される中、教育の主体となる学校・家庭・地域などが、それぞれの教育力を高め、連携して子どもたちを守り育てることにより、社会全体で子どもたちの自主性・自立性、規範意識などを育み、人間として生きていくまでの基礎力を培います。



基本方針 2

確かな学力の習得と活用する力の育成

変化の激しい時代をたくましく生き抜いていくため、国公私立の学校を問わず、地域を正しく理解し、グローバル社会で活躍できる力や最先端の科学技術を担う力など、これからの日本や世界をリードする人材となるために必要な基礎的・基本的な知識・技能や、自ら課題を発見し解決できる能力など、確かな学力の習得と活用する力の育成を図ります。



基本方針 3

生涯にわたる学習と文化芸術、スポーツ活動の推進

生涯にわたり学べ、スポーツに親しめる環境を整備するとともに、文化振興条例に基づき、総合的な文化振興の推進に努めるなど、心豊かな県民生活の実現を図ります。また、体力づくりや食育、がん教育などの健康教育の推進により、生涯にわたりいきいきと活躍できる健やかな体の育成を図るとともに、特に平成31年の第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」や、その翌年の東京オリンピック・パラリンピックを契機とした競技力の向上やスポーツの振興を図ります。



基本方針 4

誰もが安心して学べる教育環境づくり

少子化の進展など時代の変化に対応した魅力ある学校づくりの推進を図るとともに、信頼・尊敬される教員の育成や、ICT教育の推進、問題行動への対応、児童生徒等の安全の確保を進めます。また、自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進、家庭の経済状況などに関わらずすべての子どもが等しく学習することのできる機会の確保、人権教育の推進などを図ります。さらに、私立学校における教育条件の維持向上や保護者の負担軽減等のため私学助成の充実に努め、建学の精神に基づく特色ある質の高い私学教育の振興を図ります。



特に力を 入れて取り組む

- 視点 1 子どもたちの自主性・自立性の育成
- 視点 2 茨城で育ちグローバルに活躍できる人材の育成
- 視点 3 時代の変化に対応した魅力ある学校づくりの推進

6つの視点

- 視点 4 信頼・尊敬される教員の育成
- 視点 5 茨城国体、東京オリンピック・パラリンピック関連施策の推進
- 視点 6 教育による地方創生の実現

社会全体による子どもたちの自主性・自立性の育成

1 社会を生き抜く力の育成

- ・豊かな人間性を育むための体験活動の推進
- ・子どもの読書活動の推進
- ・災害等の危機管理能力の育成



「すくすく育て いばらきっ子かるた」を使った親子リレー

2 生活習慣・しつけなど家庭の教育力の向上

- ・学校・家庭・地域・企業の連携による家庭教育への支援
- ・社会全体で家庭教育支援に取り組む機運の醸成

3 就学前教育の充実

- ・幼児教育・保育の充実と小学校教育の連携及び接続
- ・特別な教育的支援が必要な子どもへの早期対応



幼稚園児と小学生の交流活動

4 豊かな心を育むための道徳教育の推進

- ・道徳教育の充実
- ・ボランティア活動の推進

5 命を大切にする教育, 世代をつなぐ教育の推進

- ・命を大切にする教育の推進
- ・家族愛や世代をつなぐ意識の醸成

6 開かれた学校づくりの推進

- ・地域の人材の積極的な活用と体制づくりの支援
- ・地域に向けた情報の発信

7 青少年の健全育成, 情報モラル・情報リテラシーの向上

- ・マナーアップ運動の推進
- ・県全体で取り組むインターネット機器利用の家庭のルールづくりの推進

8 地域コミュニティの再生

- ・学校を核とした地域の活性化

9 いばらき教育の日・教育月間の推進

- ・県民全体の運動の活性化



さわやかマナーアップ運動

主な数値目標

- 家庭でほとんど毎日(週に4日以上)お手伝いをしている割合(小1)

H26 55.9% ▶ H32 60.0%

- 幼児期の教育と小学校教育の連携・接続を行う割合

H27 73.0% ▶ H32 80.0%

- 生徒の自己肯定感

H26 54.4% ▶ H32 75.0%

確かな学力の習得と活用する力の育成

1 課題解決型等, 新たなニーズに対応した教育の推進

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と活用する力の育成
- 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)の育成
- 言語活動の充実
- 環境教育, 消費者教育, 金融経済教育の充実

2 グローバル社会で活躍できる人材の育成を目指した教育の推進

- 外国語による実践的なコミュニケーション能力の向上
- 国際教育の推進のための環境づくり

3 科学技術の集積地である本県の特徴を活かした教育の推進

- 理数教育の充実

4 郷土教育の充実

- 自国や郷土を正しく理解し, 誇りや愛着を育てる教育の推進

5 キャリア教育, 職業教育の充実

- キャリア教育の充実
- ものづくりを担う人づくりの推進



高校生の英語による観光ガイド体験

6 情報活用能力を育てる教育の充実

- 情報活用能力を育てる教育の充実

7 政治的教養教育の推進

- 政治的教養を育む教育の推進



キャリア教育(インターンシップ)



いばらぎっ子郷土検定

主な数値目標

● 自分の考えを持ち発表する児童生徒の割合	小学校:	H27	50.5%	▶	H32	54.0%
	中学校:	H27	48.8%	▶	H32	52.0%
● 科学系コンテストに向けたトレーニングへの参加者数		H26	492人	▶	H32	600人
● 「郷土に関する意識調査」で「これからも茨城県に住みたい」と回答した生徒数の割合		H26	61.9%	▶	H32	70.0%

生涯にわたる学習と文化芸術, スポーツ活動の推進

1 生涯にわたって学び続けることができる環境づくり

- 生涯学習・社会教育推進体制の充実
- 生涯学習ボランティア育成と活性化
- 県民の自主的な学習と学習成果の活用促進
- 県民の読書活動の推進

2 文化芸術活動の活性化による地域づくり, 文化芸術に親しむ環境づくり

- 幼い頃から文化芸術を鑑賞, 体験する環境づくり
- 学校教育における文化芸術活動の充実
- 美術館・博物館を活用した文化芸術の振興
- オリンピック・パラリンピック文化プログラムの推進
- 文化振興施策の総合的な推進



生涯学習センターでの活動

3 文化財の保存と活用

- 文化財の保存と活用

4 地域の文化を理解し継承していく取組の推進

- 地域に根ざした伝統文化の継承



国民体育大会

5 茨城国体, 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした競技力の向上とスポーツの振興

- 茨城国体を通じた競技スポーツの推進
- スポーツ関係組織の連携強化
- オリンピック・パラリンピック教育の推進
- スポーツイベントの開催を通じた「する・みる・支える」スポーツ活動の推進



6 体力づくり, 生涯にわたりスポーツに親しむ環境づくり

- 学校体育の充実
- 生涯スポーツや健康づくりの推進のための環境整備

7 食育, がん教育などの健康教育, 薬物乱用防止に関する教育の推進

- 食に関する指導と学校給食の充実
- 学校保健と健康教育の充実

主な数値目標

●生涯学習ボランティア派遣人数	H26 2,365人	▶	H32 3,000人
●県立美術館・博物館の利用者数(累計)	H26 1,102千人	▶	H32 1,150千人
●成人の週1回以上のスポーツ実施率	H26 39.6%	▶	H32 60.0%

誰もが安心して学べる教育環境づくり

1 学校の適正規模・適正配置の推進, 魅力ある学校づくりの推進

- ・市町村立小中学校の適正規模・適正配置の推進
- ・高校教育改革の推進

2 信頼・尊敬される教員の育成

- ・教職員の資質能力の向上
- ・優秀な人材の育成・確保
- ・教職員のサポート体制の充実
- ・コンプライアンスの確立

3 安全・安心な学校施設づくり, ICT教育など社会の変化に対応した教育環境づくり

- ・学校施設整備の推進
- ・学校のICT環境の整備

4 いじめ, 暴力行為や不登校等への対応, 児童生徒等の安全の確保

- ・問題行動への対応の充実
- ・多様化・複雑化する不安や悩みに対応できる教育相談体制の充実・強化
- ・学校の安全対策の推進

5 自立と社会参加に向けた特別支援教育の推進

- ・障害の重度・重複化, 多様化に応じた特別支援学校における教育の充実
- ・幼稚園, 小・中学校, 高等学校等における発達障害等のある子どもへの支援の充実
- ・社会性や豊かな人間性を育むための交流及び共同学習の充実
- ・就学前から卒業後までの一貫した支援体制の充実
- ・特別支援学校の教育環境整備の推進

6 子どもの貧困対策などすべての子どもたちへの学習機会の確保

- ・学習の機会の確保

7 多様性を認め合う社会づくり, 男女共同参画についての教育の推進

- ・学校教育における人権教育の推進
- ・社会教育における人権教育の推進
- ・男女共同参画社会形成への意欲の向上
- ・多文化共生のための環境づくり

8 教育を推進するための行政運営

- ・教育行政の責任体制の明確化への対応

9 私学教育の振興

- ・私学教育の振興

主な数値目標

- いばらき輝く教師塾受講生のうち
教員採用選考試験受験者

H26 134人 ▶ H32 200人

- 長寿命化計画(個別施設計画)の策定率

H27 ー ▶ H32 100%



ICTを活用した授業



外国人児童との学習

本県教育の目標

茨城県教育委員会

ひとりひとりの能力を開発し

豊かな人間性をつちかう

じょうぶな身体をつくり

たくましい心を養う

郷土を愛し

協力しあう心を育てる

プランを推進するにあたって

●点検・評価の実施

●関係機関等との連携

- ・ 家庭との連携
- ・ 地域, 大学, 企業, NPOなどとの連携
- ・ 各学校や市町村教育委員会との連携

茨城県教育委員会
マスコットキャラクター



ふれあちゃん

いばらき教育プラン

一人一人が輝く 教育立県を目指して
～子どもたちの自主性・自立性を育もう～

発行年月／平成28年4月

発行者／茨城県教育委員会

〒310-8588 水戸市笠原町978番6 TEL 029-301-5143

県教育委員会ホームページでもご覧になれます。▶ URL <http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/>